



軟骨伝導イヤホンの導入について

Q 窓口対応において軟骨伝導イヤホンを設置してコミュニケーションを取りやすくしている自治体もあるが、当町における取組を伺いたい。

A 今回の質問をきっかけとして、当庁でも、さらなるサービス拡充を図るため、介護福祉課窓口で軟骨伝導イヤホンを設置させていただきました。

今後、町民の皆様が安心して来庁ができる環境整備を整えてまいります。ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(町長・福祉部長)



軟骨伝導イヤホン

高齢者支援の取り組みについて

Q 少子高齢化が進む中において高齢者のみの世帯が増えていくと思われるが、高齢者世帯の現状把握や支援の取組について伺いたい。

A 高齢者世帯の現状についてでございますが、令和6年12月1日現在、全世帯数1万5555世帯のうち高齢者のみの世帯は2,621世帯となっており、全世帯に占める割合は24.7%となっております。

現状把握については、民生委員の見守りにおいて支援が必要と思われる高齢者の情報は、役場はじめ関係機関へ提供していただき、現状把握をしております。加えて、地域包括支援センターにおいては、高齢者やその家族の方々から健康や福祉、医療などに関する相談を

受けることにより、高齢者世帯の現状把握を行っております。昨年度は延べ2,765件の相談を受けております。高齢者の支援につきましては、これまでの高齢者福祉サービスのほか、新たな取り組みとして、さかエール地元応援電子クーポン3,000円無料プレゼント事業などを実施しております。

次に、今後の課題でございますが、高齢者のみの世帯、中でも一人暮らしの高齢者世帯や老々介護の高齢者がいかに安心して暮らせるコミュニティを作れるかという点であります。具体的に、今後は、PFIによる住宅支援だけでなく、買い物、病院、銀行などに生活圏区域内での高齢者のみで暮らせる高齢者版地域有料賃貸住宅を研究してまいりたいと考えております。

(福祉部長)



特別委員会

境第二中学校区小中一貫校設置特別委員会

当特別委員会は、少子高齢化により児童生徒の減少が進んでいると見込まれており、境町教育委員会が策定する「境町立学校再編整備計画」の小中学校の適正化に向けた再編整備方針に基づき、小中一貫校設置について調査研究するため、特別委員会を設置し、委員長に斉藤 政雄議員、副委員長に染谷 直人議員が選出されました。

これまでの経過としまして、平成28年3月8日には、当議会に、「学校適正化配置調査特別委員会」を設置し、調査研究を行い、学校適正化配置に係る提言書を、平成29年3月14日、境町教育委員会へ提出いたしました。

教育委員会では、令和3年7月に有識者による「学校のあり方検討委員会」を設置し、今後の教育環境について検討会議や住民アンケートを行い、それらを踏まえ、令和4年5月に学校のあり方検討委員会より、教育委員会に提言書が提出されました。